

「秋系821」名称公募開始に合わせて新品種をPR

令和4年度にデビューする秋田米新品種「秋系821」のネーミング案の公募開始に合わせて、4月7日(火)に秋田県庁でPRイベントが行われました。佐竹敬久知事やJ Aグループの関係者らが参加し、秋田米の最上位品種にふさわしい多様な名称案の応募を呼び掛けました。

「秋系821」は白さとつやのある外観、大きくふっくらとした粒立ちのよさ、上品な香りや甘味などが特徴です。「つぶぞろい」と中部132号を交配した品種で、いもち病に強く「あきたこまち」より出穂期が約6日、成熟期が約12日遅い晩生種となります。

新品種の名称は専門家や有識者が候補を絞り込み、佐竹知事の最終決定を経て11月に発表される予定です。



「秋系821」の飛躍に意気込む佐竹知事ら

秋田米のフラグシップとして期待される「秋系821」



白くつやのある外観やふっくらとした粒感が特徴です



NEWS & TOPICS

安心・安全な農産物づくり推進協議会

3月24日(火)、安心・安全な農産物づくり推進協議会がJ A秋田なまはげ会館で開かれました。J A役員や生産部会の代表者、市場関係者らが、令和元年度の生産履歴記帳運動の取り組み状況や農産物の検査結果などを確認しました。

令和元年度に当J Aへ出荷されて検査を行った農産物のうち、残留農薬や放射性物質などの基準値を超えたものはありませんでした。

参加者からは栽培日誌の様式などについて質問が上がり、令和2年度も安全な農産物を消費者へ届けるため意見を交わしました。



安心で安全な農産物づくりの実施状況を確認しました

人事異動・新採用職員らへ辞令を交付

4月1日(水)、J A秋田なまはげ会館で辞令交付式が行われ、各事業所の所属長や同日から任用となる職員に辞令が交付されました。

新採用の職員にも辞令が交付され、同日に入組した10人が緊張した面持ちで京極芳郎組合長から辞令を受け取りました。

京極組合長は「農業やJ Aを巡る情勢は目まぐるしく変わっていくため、自分で日々研鑽していくことが重要。周りの先輩の話をよく聞き、早く仕事に慣れるよう頑張ってください」と呼び掛けました。



辞令を受け取る新採用職員

